

澤

（小澤 實）

る蛙より後ろの蘆のほうが墨色濃く表現されていること。山口信博さんはその蘆の葉先の鋭い交わりに、禅機を感じ取ったのか、注目したようだ。ぼくは「厩画」の署名に目を止めた。この署名自体も濃く、一匹の小動物のように力強く立ち上がっている。この署名と蛙と蘆との間にか呼応するものを感じている。



仙厓「蛙図」。仙厓の句に「古池や芭蕉飛込む水の音」がある。芭蕉の「古池や蛙飛こむ水のおと」のパロディであるが、これは芭蕉が発句のモチーフに自分の人生を据えたことを暗示している可能性がある。さて、この図の蛙も怪しい存在感を示している。立ち上がって俳諧師にでもなりそうだ。不思議なのは、主人公た

澤 9 月号 目次

澤通信句会のお知らせ……………4

小澤 實 鳩時計 十五句……………8

高橋睦郎 季語練習帖 第一六五回……………10

潺湲集 小澤 實選……………12

義元の首 山岸樵鹿 碧き雨 山本肯三

骨集む 高橋球子 風にとぼして 布田恭子

五本角 余村光世 ローンオフエンダー 周藤迪之相

小爆発 川上弘美 梅雨晴間 森永二正

十五軒 結城あき 錆 根岸哲也

汗のわれ 松野篤子 チーちゃん 加納 燕

革命もはや 柳元佑太 湿布 大竹安子

十分 長澤庸子 開閉 黒澤佳子

裂合わせ 栗生

澤俳句鑑賞 280

岡田一実……………18

森下秋露……………20

窓

俳書を読む

和田順子『皆既月蝕』／中村雅樹『晨風』／土方公二『帰

燕抄』／亀井千代志『スマッシュ』／小川楓子『ことり』

木内縉太……………22

詩文学芸書を読む

縄文ZINE編『土偶を読むを読む』 根岸哲也……………24

総合誌俳句鑑賞

「俳句」七月号 今朝……………26

俳句結社誌を読む

「草樹」令和五年三月号 梶等太郎……………28

通信句会の秀句 蔵田かをり……………30

仙厓のこと 六 栗生……………32

潺潺集巻頭作家インタビュー たが啓子……………34

澤集巻頭作家インタビュー 相澤美穂……………35

同人代表句 佐藤晃市／赤岩 覺……………36

同人一句鑑賞 近藤信男／仲 白良……………37

澤衍……………38

澤四十句 小澤 實選……………40

選後独言 詠史のたのしみ 小澤 實……………42

澤集 小澤 實選……………44

平嶋さやか／青沼まみ／深井十日／中山あい／竹村さぎり
／矢島俊岳／峰尾麻紀子／佐藤涼子／相沢佳子／信太 蓬
／瀬戸山海月／中村朋子／鳳 佳子

新入会員……………76

消息／

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………77

正誤表……………78

第235回定例会9月ご案内……………79

8月号発送報告……………80

澤俳句叢書一覧……………81

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………82

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………83

澤句会・カルチャー一覧……………84

広告……………85

後記……………90

デザインⅡ山口信博 写真Ⅱ大友洋祐 表紙監修Ⅱ栗生

澤
令和5年9月1日発行
澤 俳句会
頒価 1,200円